三学ぱる塾	デジカメと画像	「画像」	2007 年 後期講座
-------	---------	------	-------------

▮ 明るさ調整

前回撮影した逆光で暗い画像を明るく出来るかを試してみたい。

今回使用するソフト アドビ フォトショップ エレメンツ 4 で作業を 進めます。

エレメンツを起動して初級者向けといわれる「写真のクイック補正」モー ドを立ち上げる。



操作画面にレタッチする写真「明るさ1」をドラ ッグで挿入するか、ファイルから開いて貼り付け る。

操作を始める前に、画像を見やすくするために 「補正前」と補正後」の画像を並べて表示するよ う設定します。 画面下の「表示」右の三角印をクリックして「補 正前と補正後(横)」を選ぶ。

画面右の図から「ライティング」の「シャドウ を明るく」で暗い部分を明るくする。 このスライダーを右に動かしてみる。 逆光部分が明るく変わって来る。

また、「ハイライトを暗く」もスライダーを動か して画像の変化と補正後の画像を比較して一番 よいと思うところで操作を止めたい。

また、ここで「中間調のコントラスト」を少し 動かしてコントラストを調整してはっきりとさ せるのもよいと思う。

そして色調が不足しているようだったら、「彩 度」は色の鮮やかさ。

「色相」どの色を強調するかで調整をしてみたい。

それに「色温度」では右が暖色で「赤系」 左が寒色の「青系」となるので温かみのある写真に仕上げたいときは暖色を選ぶとよい。

∎ 色の調整

元写真

写真を写すときは撮影したときのイメージが頭に残っているものです。 そうしたときにパソコンなどで画像を展開して見て、きれいな色だったと 思ったのに少し違う感じだと思うことがよくあります。

そうしたわずかの色の違いを、調整できるかを試してみたい。

「桜青色1」を開く。

「画像調整」 「カラー」 色相・ 彩度を開く。

色相・彩度ダイアログボックスの「編集」 横の三角印から空の部分(青)を調整す るときは「ブルー系」を選択する。



そして下にあるスポイトの形のツールか ら「サンプルに追加」をクリックする。 マウスポインターがスポイトの形になっ たら補正前画像の空の青い部分をクリッ クする。(黄色矢印) その選択した部分が調整の対象になった。 「彩度」のスライダーを少し右に動かし てみる。



イメージに添う色が表現で きたら完成だ。

また、花の色もピンクをつよ くできる。操作してみよう。

┗ 画質調整

ピントが今ひとつといった写真はよくあることです。

ピンボケを少しでもよく見えるようになればうれしいものだ。

「桜シャープ2」をスタンダード編集で取り込みピンボケを調整してみよ う。



ここでは「マグネット選択ツール」を使って桜の花 びらを選択する。

花びらのふちをなぞるとその近似色で自動で指定 される。

クリックした色を自動で判断してくれる。



アンシャープマスクを使うと少しは修正できる。 まず、「選択範囲」から「境界をぼかす」を選ぶ。 「半径」は画像によって違うが印刷用なら3~15 くらい。 メニューバーの「フィルタ」から「シャープ」 「アンシャープマスク」 を選ぶ。

「量」 では大きいほど輪郭線が強調される。

「半径」 大きくすると広範囲がシャープになる。

しきい値 大きいとノイズが目立つ。

「コントラスト」を指定した量だけ強める(明暗を強調する)のがアンシャープマスクの原理だ。

こまめに操作を繰り返していい結果を出してほしい。 操作ができたら「選択を解除」で完了。 デジカメと画像 「画像」 テキスト .doc4

┗ 画像のコピー

集合写真に欠席した人を後から挿入して合成写真を作ってみたい。 元になる写真(背景)のサイズと、挿入しようとする写真のサイズが異な ることがあると思われるが、大きな違いでなかったら使ってみよう。 「写真の編集と補正」を起動する。

メニューバーから「ファイル」 「開く」 画像フォルダーの「コピー元 1」を取り込む。

この中から切り抜くモデルを「マグネット選択ツール」を使ってできるだけ丁寧に選択する。

選択を間違ったら「Delete」を使って削除する。(元へ戻す)

「Shift」キーを押しながら他の選択ツールを使って囲んで追加することも 出来る。

「Alt」キーでは囲んだ部分を取り除くことが出来る。

選択が出来たら「編集」 「コピー」をクリックする。

そしてメニューバー「ファイル」から背景画像「背景元1」を開く。

「編集」 「ペースト」で切り抜いた画像を配置して、サイズなどを調整 する。



今回は背景画像の中で一番前の人物の 後ろ側へ配置したい。

そこでこの前の人物「背景コピー元2」 をコピーして張り付けることにした。

この画像を選択して貼り付けてみたい。 「レイヤー」の順序を変えることも出来 る。

画像が完成したら「レイヤー」 「画像 を統合」。 ファイルメニューで「別名で保存」。

ファイル形式では「JPEG」を選んで保存する。

▶ 印刷と画質サイズ

印刷するには最近プリンターの性能が向上して大きな写真も印刷が出来 るようになった。 画像「印刷1」を開いて画像サイズを見てみよう。

「イメージ」 「サイズ変更」 「画像解像度」。 ダイアログボックスが開く。

画像解像度	×
◆ この機能のヘルプを表示、画像サイズ	ОК
	キャンセル
「 ビクセル致 14.1M	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
4≣: 2560 pixel	
(최근: T920) DIXel	
- ドキュメントのサイズ	
15 903.11) mm 👻 🛶	
高さ 677.33 mm - 0	
解態度 /2 pixel/irch	
スタイルを拡大・縮小(1) 縦横比を固定(0) ■ 画像の再サングル型 「パ」まっ (あの法	

現在の画像サイズは幅 903.11mm 高さ 677.33mmと非常に大きい。 解像度が「72」pixel/inch。

プリンターの機能で印刷サイズは自動調整するものが多いと思われます が、「画像の再サンプル」にチェックを入れてドキュメントのサイズを変 更すると、解像度はそのままでサイズを変えられる。

メールなどで使うときに画像サイズ(ファイルサイズ)を小さくして送る のに便利だ。

「画像の再サンプル」のチェックを外したままで、解像度を300に変える。 プリント印刷での最高画質といわれる画質になる。

作業エリアは変わりが無いですが幅 216.75mm 高さ 162.56mmとなった。

ビューメニューの「プリントサイズ」をクリックしてみよう。 表示サイズが変わったのがわかる。 デジカメと画像 「画像」 テキスト .doc6

1インチ当たりのピクセル数に約4倍の差がある。





L版サイズなどで印刷し比較してみたい。 A4サイズなど。

画像の再サンプルのチェックを外した値。

	pixel	mm	Pixel/inch
元画	2560×1920	903.11 × 677.33	72
A4		297×222.7	218.9
2L		178 × 133.5	365.3
L版		127×95.2	512

画像の再サンプルチェックを入れたもの

	Pixel	mm	Pixel/inch
元画	2560×1920	903.11 × 677.33	72
A4	842 × 631	297×222.7	72
2L	505 × 378	178 × 133.5	72
L版	360×270	127×95.2	72

撮影サイズ 容量

容量	Pixel	mm	Pixel / inch	サイズ
5 M	2570×1920	903.11 × 677.33	72	14M
3 M	2048 × 1536	722.49 × 541.87	72	9M
1024	1024×768	361.24×270.93	72	1.024M